火の島と水の島

屋久島町議会だより

令和８年（２０２６年）６月１０日 No. ７４



海祭り（平内海中温泉清掃）4月25日

町民の声カウンター

４７

令和３年10月～
議会だより宛に届いた意見数

□第４回定例会　Ｐ１～7
□一般質問　Ｐ８～Ｐ１３
□令和８年第２回・第3回全員協議会　Ｐ14

令和8年度 第1回定例会　　3月10日～23日

本定例会には、報告1件、承認案2件、補正予算案10件、契約案1件、その他の案件9件、計画策定案2件、条例案4件、当初予算案9件が提案され、審議しました。

3月10日(火)	開会
3月11日(水)	一般質問:渡邉博之、渡邊千護、榎光徳
3月12日(木)	一般質問:日髙好作、天辰絵美子　常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
3月13日(金)	常任委員会(総務文教委員会、産業厚生常任委員会)
3月16日(月)	常任委員会(産業厚生常任委員会)
3月23日(月)	最終本会議

総括質疑

報告承認第1号放棄した債権の報告について(質疑のみ)

日髙好作議員
問)**町営住宅使用料**における、平成9年から30年の期間、4名で190万100円の債権放棄という報告だが、これまでの経緯、経過、最も多い債権額はいくらか示してほしい。
建設課
答)前任者への聞き取りや資料の調査、他課からの情報提供などで、少しタイムラグが生じた。最高53か月分の107万3800円が最大。

議案第1号から議案第9号を一括質疑(令和7年度補正予算など)

大角利成議員
問)商工費雑入で計上されている850万円の収入の施設はどこか。
産業振興課
答)施設は安房のAコープで、電気代は町が支払った後Aコープが町に支払うことになっているが、今回予算計上に誤りがあって訂正する内容である。

問)**プレミアム商品券事務補助金**、2053万8000円の内容は。
産業振興課
答)ペイドン利用について、当初、町は20％のプレミアム付きで議会の承認を得たが、その後、**県が20％の上乗せ**をすることになり、それに必要な経費を計上している。

問)工事請負費、災害復旧費など総計で**3億1500万円の減額**の内訳は。
建設課
答)口永良部の向江浜線**災害復旧の全額、同地区の本村向江浜線の入札不調**による減額が主な内容。

榎光徳議員
問)**人間ドッグ利用補助金17万円減額**は何人分に当たるのか。
健康長寿課
答)**2万円補助が7名、3万円補助が1名**となっている。



令和7年度上水道事業特別会計（資本金の額の減少について）

榎光徳議員
問）対象となる施設は。
生活環境課
答）取水、導水、浄水、配水の各設備及び配水管、蓄電設備、電源装置、電気、薬品注入、滅菌、通信、計測の各設備がある。

船舶事業特別会計について

寺田久志議員
問）**一般会計からの補助増額の必要性**について、いつごろ有無の判断をするのか。
答）令和6年度決算で、**資金不足解消のための一時借り入れ**を避けるための措置だが、いつ判断するかは未定

町長の施政方針に対する質疑

渡邉博之議員
問）若い職員が退職するという流れを止めないと、職員の意識改革もない。原因はどこにあると思うか。
答） なぜ辞めるのかの聞き取りはやっている。健康を理由とする人もいるが、多くは自分のやりたいことが見つかったからという理由になっている。
問）**シルバー人材センター**の設立は実施すると決めて進めているのか。それはいつになるのか。
答）実施すると捉えてよい。時期は準備委員会で決めることになり、ここでは明言できない。

大角利成議員
問）「これからも挑戦を続続ける」との表明は、来年の町長選挙に挑戦するという意味合いも含んでいるのか。
答）残された任期を日々挑戦の思いで、町発展のため頑張る気持ちを表明した。

日髙好作議員
問）「住民サービスはどこでも受けられる」をモットウに、**郵便局との連携**を掲げているがどういう考えか。
答）**郵便局への委託**について局側からも提案されている。今後プロジェクトチームで研究を重ね、結論を得る。
問）**固定資産家屋全棟調査**を実施する方針だが、どう進めるのか。
答）資産についての不備や不十分さを、県から指摘されていることもあって、今回全ての家屋を対象に調査を実施する。**調査期間は2か年**で、厳正を期する必要性から外部の専門業者に委託する。

榎光徳議員
問）**来年の町政20周年**に向け、特筆するような構想または取り組みがあるか。
答）**式典は施行日の10月1日**を考えている。具体的にはこれからだ。
問）クリーンサポートセンターの**炭化物の処理**は具体的にどうする。
答）当初で3300万円の予算を計上している。
問）**企業の誘致**で具体的なものは？
答）今のところ、具体的な誘致話はない。今年度、**民間提案制度**を活用して、**町有地の活用やデジタル活用**の提案があれば、連携して行政サービスの向上を図っていきたい。

令和8年　第1回定例会　採決一覧

3月10日議決分	議決の結果
報告第1号　放棄した債権の報告について	報告
承認第1号　屋久島町電気事業供給条例の一部改正に伴う専決処分事項報告承認について	承認
承認第2号　令和7年度屋久島町一般会計補正予算(第10号)の専決処分事項報告承認について	承認
議案第1号　令和7年度屋久島町一般会計補正予算(第11号)について	可決
議案第2号　令和7年度屋久島町上水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第3号　令和7年屋久島町度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第4号　令和7年度屋久島町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第5号　令和7年度屋久島町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第6号　令和7年度屋久島町診療所事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第7号　令和7年度屋久島町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第8号　令和7年度屋久島町船舶事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第9号　令和7年度屋久島町電気事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第10号　令和7年度屋久島町上水道事業特別会計の資本金の額の減少について	可決
議案第11号　6災340号橋梁災害復旧工事(宮之浦循環 線)請負変更契約の締結について	可決
発議第1号　屋久島町介護(高齢者・障がい者等)対策特別委員会の設置に関する決議について	可決

3月23日議決分	議決の結果
議案第12号　屋久島町道路線の変更について	可決
議案第13号　財産の無償貸付について	可決
議案第14号　屋久島町漁村センターの指定管理者の指定について	可決
議案第15号　屋久島町まごころ市ぽん・たん館の指定管理者の指定について	可決
議案第16号　屋久島町栗生ふれあい加工センターの指定管理者の指定について	可決
議案第17号　屋久島町福祉センター及び屋久島町総合福祉センターの指定管理者の指定について	可決
議案第18号　屋久島町屋久杉ランド休憩施設の指定管理者の指定について	可決

令和8年　第1回定例会　採決一覧続き

3月23日議決分	議決の結果
議案第19号　屋久島辺地総合整備計画の変更について	可決
議案第20号　屋久島町過疎地域持続的発展計画の策定について	可決
議案第21号　屋久島町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決
議案第22号　屋久島町行政組織条例の一部改正について	可決
議案第23号　屋久島町電気事業供給条例の一部改正について	可決
議案第24号　屋久島高等学校等通学バス運行事業分担金徴収条例の廃止について	可決
議案第25号　令和8年度屋久島町一般会計予算について	可決
議案第26号　令和8年度屋久島町上水道事業特別会計予算について	可決
議案第27号　令和8年度屋久島町農業集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第28号　令和8年度屋久島町国民健康保険事業特別会計予算について	可決
議案第29号　令和8年度屋久島町介護保険事業特別会計予算について	可決
議案第30号　令和8年度屋久島町診療所事業特別会計予算について	可決
議案第31号　令和8年度屋久島町後期高齢者医療事業特別会計予算について	可決
議案第32号　令和8年度屋久島町船舶事業特別会計予算について	可決
議案第33号　令和8年度屋久島町電気事業特別会計予算について	可決
議案第34号　令和7年度屋久島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）について	可決
発委第1号　専決事項の指定	可決

第1回定例会　総務文教常任委員会議案審査

屋久島高等学校等通学バス運行事業分担金徴収条例の廃止について

通学バスの分担金が廃止され、実質的な**無償化**が図られました。

〇相良健一郎委員

問）町としてどれだけ負担が増えたのか。また現在早退や部活動などの場合は定期バスを利用できると思うが、そのまま継続なのか。

〇教育総務課

答）委託料としては、3500万ほどを計上している。定期バスの利用については、課外授業であるとか部活動において定期バスの定期券で乗れるようになっている。ただ、休校等では利用ができない。

◆令和8年度一般会計予算案（主な審査）

【政策推進課】
〇石田尾茂樹委員
問）**基金の取崩し**をして充当しているが、今後の基金の運用の仕方は非常に厳しくなると予想される。見解を示して欲しい。
答）今後は**給食センターの整備、北分遺所の新設、多目的交流センターの整備、また学校の移転等大規模事業**を予定している。それに加えて、高速船の支援、フェリーの支援等も予想されるので、計画的な基金の運用をしていきたい。また今年度から会計課と連携して、国が推進している基金の運用を行い、頑張って自主財源を確保していきたいと考える。

〇渡邊千護委員
問）備品購入費で、**ロボット草刈り機3台購入**について、大体充電は何時間ぐらい持つのか。また充電基地が無ければ貸出できないのか。
答）充電基地に200ボルトの工事をしており、充電が切れたら、同じ基地に自動で充電に戻り、充電が終わったら自分でまた勝手に動き出すというものである。200ボルトの電源が必要だということなので、貸出場所にも電気の工事が必要になる。

〇石田尾茂樹委員
問）**寄宿舎運営委託**について食事は提供者を今探しているということだが、寄宿舎で調理をする人を探しているのか、外から外注して持ってくるのか説明を求める。
答）食事の提供については、今の寄宿舎の場所に調理室と食堂もあるので、朝と昼はそちらのほうで調理をして提供する。お昼はお弁当になるが、出来ればこの業務の中で作っていただきたい。

〇相良健一郎委員
問）**民間賃借住宅建設促進事業補助金**の詳細な説明を求める。またどれくらいの見込みを立てているか見解を示して欲しい。
答）高齢化比率が50％以下の集落と50％以上の集落でという形で区分を分けている。
現在1番、取組みやすい高齢化比率50％以下の地域で建設費の4分の1を対象にしたいというふうに考えている、単身用を一戸当たり上限300万円で、10戸程度の住宅を対象、もし世帯用であれば、上限500万円で、6世帯を今年度の目標としている。

〇渡邊千護委員
問）**全国離島交流野球大会負担金**300万円について指導者を含めた人数と予算の内訳を示して欲しい。
答）今年度は島根県の隠岐の島で開催予定、町内の中学校合同チームで参加をしている。生徒20名、大人4名を予定している。この負担金は一旦、全国離島振興協議会事務局に金額をお預け、旅費や大会運営費として使われている。今のところ等分割になっており、開催地はそれ以上に費用がかかると伺っている。

【教育総務課】
〇相良健一郎委員
問）**学校のトイレ洋式化**は来年度以降も継続されるのか。
答）和式も一部残しながら、洋式化のほうを何年かかけて順次整備していく予定。今年度出来なかったところについては、予算の範囲内でできるところまでは来年度もやりたい。

第1回定例会　産業厚生常任委員会議案審査

屋久島町電気事業供給条例の一部改正について

○渡邉博之委員

問）値上げをした理由を具体的に説明願う。また一般家庭で月額どのくらいの値上げになるか。

電気課

答）維持管理費の現行費や資材の高騰があり、約20年間料金が改訂されていなかった。今後、送電線や発電所関係、ダム関係等に費用を要すると聞いている。大体通常30アンペアの300ワットを使用した場合に現行料金が7,194円、改定後が7854円、660円の値上げで9.2％の増加となる。**年間で7,920円値上げ**することになる。

○中馬慎一郎委員

問）島内の安房電気利用組合、農協も全く同じ対応で値上げしているか。

答）**安房電気利用組合も同様に使用料を2円値上げ、農協も電灯に関しては同様に2円の値上げ**と聞いている。

○寺田久志委員

問）電気に関して、複数社が供給をし、一律でないこと対して、屋久島町は**平準化**について考えはあるのか。

答）この値上げに関して、管理費用も変わってくることから一緒にする必要はないということになった。

○討論

【反対】

渡邉博之委員

担当課としては一生懸命交渉して、やむなしと思うが、住民の生活を考えると、7920円という高さは暮らしや営業にも直結することである。今回の値上げを認めるわけにはいかないため反対。

【賛成】

日髙好作委員

電気の安定供給は町民の生活にとって、欠かすことのできないことである。改修維持管理、更新等に費用を要し、これだけ資材等の高騰によって非常に厳しい部分もあると思うので賛成。

○採決の結果、賛成者起立多数（5：1）で原案のとおり**可決**すべきものと決定。

◆令和8年度一般会計予算案（主な審査）

【健康長寿課】

○大角利成委員

問）医療機関の**物価高騰対策支援事業**について、今、検討している事業内容は。

答）**病院、無床診療所、歯科診療所、薬局**の4つの施設で支援を行う。病院が1万円×病床数、上限を100万。診療所は、最大20万。歯科診療所は、最大15万。薬局は最大10万で単年度で実施する計画である。

○中馬慎一郎委員

問）物価高騰対策費の**残が7,500万円**ほどある。福祉施設等に対する支援について考えはないか。

答）福祉施設等は、令和5年度と7年度に支援し、医療機関は今まで支援してなかったため、今回提案している。

【生活環境課】

○日髙好作委員

問）旧焼却場の整理事業だが、進捗状況は。**ダイオキシン問題**はないか。

答）旧尾之間焼却場のストックしていた残留ゴミについては、ほぼ処理が終了している。協議し終了という統一的な見解が出たら終了し、補正予算で組み換えをする。燃やしたごみではないのでダイオキシンの問題はない。

○寺田久志委員

問）旧焼却場について、**汚染土壌処理場は環境基準をクリア**しているか。

答）覆土と考えているが、現在の基準でいくと、温度が上がっていないか、ガスが発生していないか、地盤沈下していないか等が廃止に必要な調査となっている。そのような手続きを踏んで、廃止するかも含めて検討が必要。

【福祉支援課】
○寺田久志委員
問）**シルバー人材センター**について、ＤＸの中で実現に向け各課からの応援要請は考えていないか。
答）実際、会社をつくるので、立ち上げるまでは専任を1人の配置を要望している。

【産業振興課】
○中馬慎一郎委員
問）**求人求職マッチング事業**と福祉支援課のシルバー人材センター事業は、**両課横断**的な展開はないのか。
問）マンパワーを考えると、シルバー人材が重要になるので連携していきたい。

この他、**介護（高齢者・障がい者等）対策特別委員会**（委員長：内田正喜）が設置され、産業厚生常任委員が担当することになりました。先ずは、本町の現状を把握するために、対象事業者様への**一斉アンケート**を執りおこなわせていただきました。関係事業者の皆様、お忙しい中ご協力いただき、まことにありがとうございました。アンケート結果を取りまとめましたら、ご報告申し上げます。

■現地調査報告　【実施日】令和8年3月16日

◇旧尾之間焼却場
過去に処理できず保管されていたごみの整理状況を確認。処理は概ね完了しているものの、廃止にあたってはガス発生の有無、地盤の安定性、周辺環境への影響などの調査が必要とされている。





◇農業集落排水施設
地域の生活排水を処理する重要な施設であり、衛生環境の維持に欠かせない役割を担う。一方で、施設の維持管理や更新費用が課題となっており、持続可能な運営体制の確立が求められている。

◇町道松峯第3号幹線
道路付け替え予定箇所の現地を確認。交通の安全性確保と利便性向上に加え、地域との調和を考慮した整備が必要。



■屋久島町エネルギー回収型廃棄物処理施設竣工式



【開催日】令和8年5月17日

契約着手日より約3年4カ月、新たな焼却施設が完成!!

5月17日に多くの来賓をお迎えし、エネルギー回収型廃棄物処理施設の竣工式が行われました。従来の施設に比べダイオキシンや温室効果ガスを更に抑えた、**環境への配慮**、地震や停電時も**安全**に運転を停止した災害への強さ、また**維持管理の経済性**、容易性に優れた施設となっています。

一般質問

14人中5人が一般質問!!

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。一人の議員に与えられる制限時間は60分です。※予定した時間より変更することもあります。
（議員本人の責任において掲載しています）

1、渡邉博之（わたなべひろゆき）	P
1．永田川のヘドロ問題について 2．一湊川の天然記念物指定のカワゴロモと上流の砂防ダム強化工事について 3．航路問題ついて	9
2、渡邊千護（わたなべちもり）	
1．物価高騰対策の重点支援地方交付金について	10
3、榎光徳（えのきみつのり）	
1．宮之浦港の整備状況について 2．教育行政について	11
4、日髙好作（ひだかこうさく）	
1．農業振興について 2．子育て支援について	12
5、天辰絵美子（あまたつえみこ）	
1．保育園留学、特定乳児等通園支援事業について 2．空き家バンクについて 3．旅行者アンケートの結果について 4．公営住宅の法定外貸し出し、払い下げについて 5．高齢者支援について	13

屋久島町議会チャンネル配信中

一般質問の様子を、動画で観ることができます。下の表に表示されているQRコードを読み込むか、ＹｏｕＴｕｂｅで「屋久島町議会」と検索して下さい。

check

3月10日

3月23日

一湊川のヤクシマカワゴロモについて

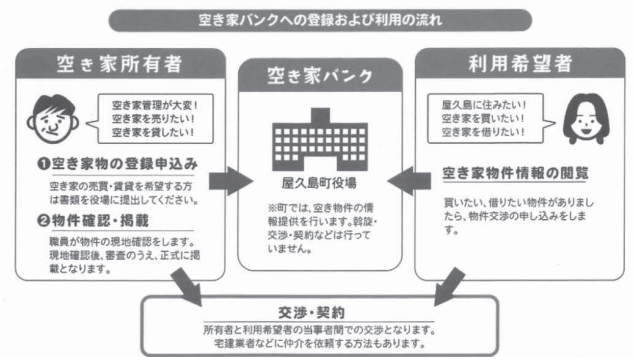
・絶滅危惧ⅠB類

種子植物でありながら，茎や葉が退化し，根は平たい葉状体となって葉緑体を持ち岩の表面にはりついて急流の水中で生きています。また，水位の低い冬季に花をつけ種子をつくります。

自生地の環境が悪化することにより絶滅が心配されていることから，環境省及び鹿児島県はカワゴケソウ科植物すべての種を絶滅危惧種に指定しており、ヤクシマカワゴロモは屋久島でも**一湊川及びその支流の白川だけに生育する固有種**です。

鹿児島県県立博物館より







渡邉博之議員

- ▶ 永田川と一湊川の問題について
- ▶ フェリー２の後継船問題について

▶ 永田川と一湊川の問題について

問 永田川のヘドロ撤去を町が行っているが、もともとは川の一部だったところで県管理ではないのか。また、抜本的解決を得ないとヘドロ発生と撤去費用は永久的に続く。一つは以前のように本流の流れを通し滞留をなくす、もう一つは地域の水路の流れを変えてヘドロ発生を止めるかの解決策を提案しておきたい。

答 町が対応するという認識でいるが、議員の指摘を受け、過去のいきさつや抜本的解決策を協議、探求したい。

問 世界で一湊川だけに生息する絶滅危惧種指定のカワゴロモ。その上流で砂防ダムの改良工事が計画されていることに対し、町内の複数のグループから見直しを求める動きが高まり、県がカワゴロモの研究者の意見を聴取すると変化したことは良好な流れだ。町もこの計画への意見を求められているが、もともとこのような判断は、研究者や保護団体などの専門的意見が必要な分野だと思うがどうか。

答 （教育長） 今後、県の方針に変化があれば、町の事務処理上必要があれば県教育委員会と連携しながら対応したい

▶ フェリー2の後継船問題について

問 フェリー２の後継船問題について、問題解決には町民と行政、議会が共通認識のもと、一体的運動体で動くことが要と思う。その共通認識について、一、後継船は人も物も運ぶフエリー型が絶対条件、二、業界の共同運航を優先するという認識、三、議会との共同、四、町民が一丸となるための方策について見解を。

答 貨物専用船はあり得ない。周辺では高速船の更新が優先の感が強いが、町は、屋久島の航路優先を貫くことを議会とも共有したい。
業界が一体となることがベストだが、現時点では兆しが見えない。動きがなければ撤退してもらって議員が提案している町運営の航路という気持ちもないではない。全国の離島が抱える共通の問題で離島の命綱を守るためには国の支援は不可欠。屋久島朝出しの航路も視野に一体で頑張りたい。





渡邊千護議員

▶プレミアムポイント付与に「Payどん」の利用を決めたのはなぜか

▶プレミアムポイント付与に「Payどん」の利用を決めたのはなぜか

問 プレミアムポイント（１万円につき2,000円）を付与するに当たり、なぜ、鹿児島銀行のキャッシュレス決済アプリ「Payどん」の利用を決めたのか。会議の中で現金や商品券にするという議論は出なかったのか。

答 過去に、屋久島町の商工会が運営主体となって、紙ベースでの商品券事業を実施してきた。印刷費や配布にかかる経費、販売換金に係る事務費を含む人件費がかさむうえに、人的な負担が増大するといった問題点が重視されてきたので、「Payどん」を活用した。

問 商品券を(町民に)もれなく渡そうと、皆を支援していこうという話は出なかったのか。

答 各課から、そういう意見は出なかった。

問 現在、「Payどん」の利用者は町内に1,600人のみで、全町民の大体８割から９割が「Payどん」の恩恵を受けられず、極めて不平等な事業となっている。他の多くの自治体では、全住民に一律に商品券や現金を配るなどしているが、屋久島町はどのようにして平等性を確保するのか。

答 「Payどん」の利用数については、約1,600人であることは承知している。鹿児島銀行の個人口座の保有数は7,000件以上であり、南日本銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫の個人口座保有者を含めると、さらに多くの方が「Payどん」を利用できる状況。使い方をイラストなどで紹介したり、消費喚起の広報を行うことで、本事業の利用者は増加するのではないかと考えている。

問 経済的、年齢的にスマホを持ってない人、最も支援が必要な層の住民が受け取れない。余裕のある住民だけが恩恵を受ける仕組みになり、平等性がないと思う。

答 携帯を持っていない方もいると思うが、キャッシュレス化を図っていくということを目的にもしているので、「Payどん」を活用して事業を行っていくと決めた。

問 県内４３ほど市区町村があるが、ほとんどが商品券。なぜ屋久島だけこんなハードル高いのか。なぜ皆がもっと恩恵受けられないのか。

答 言っていることは十分に分かる。次回そういうことがあるときには調べて、全ての町民に等しくいくような、平等性を欠かないようなやり方でやっていきたい。

榎光德議員



▶ 飛鳥（Ⅲ）宮之浦港寄港について
▶ 土曜授業の見直しについて

▶飛鳥（Ⅲ）宮之浦港寄港について

問 日本最大のクルーズ船 飛鳥（Ⅲ）の宮之浦港接岸が可能となり、現在受け入れ準備が進められているが、早期実現の為県・国との協議や工事進捗はどの程度把握できているか？

答 （町長）令和６年～７年で浚渫工事を行っており、大型船出入港の為の航行安全対策調査検討委員会も開催され、検討が進んでいる。

問 寄港のニーズは多くある。観光協会や地元の方々が協力し、受け入れ体制や整備の強化を図るべきでは。

答 （町長）今後は、赤灯台のある北防波堤を200m延ばす計画もあり、港内の静穏度を保ちお客様を安全で安心して運べるよう、港の整備が必要であると考えている。
（意見）今回、交通対策特別委員会も設置された。空港のジェット化問題も含め、早期の実現を目指し、議会サイドも一体となって努力をしていきたい。

▶土曜授業の見直しについて

問 公立小・中学校の土曜授業を、県教委は見直しするよう通達を出したが、本町はどのような対応をするのか。

答 （以下、教育長回答）教職員の負担軽減と、児童・生徒の生活リズムや心身の健康に配慮し、小学校2校、中学校2校が予定をしており他は実施しない。

問 実施する、しないは各学校の校長采配か、教育委員会や教育長の意向があるのか。

答 実施の有無、回数は各学校の実情はＰＴＡ等の意見を聞き、それぞれの学校が適切に判断するようにしている。

問 土曜授業が無くなることにより、地域の歴史や文化、人材交流等地域連携が薄れていく心配は無いか？

答 地域との連携は無くならないと思っている。

問 栗生小の赤門保存は、移設の方向で場所も決定していたが完成はいつになるのか？

答 門柱のレンガ解体を行い、基礎工事も終わっている。年度内には完成させたい。

問 地元の永年の要望でもあったが、高齢化が進み赤門の歴史を知る人も少なくなっている。昔の方々の想いや歴史を知る上での看板を設置する考えは無いか？

答 学校や区と協議し、確認をしながら実施したい。



日髙好作議員

▶ 農業振興について
▶ 子育て支援について

▶農業振興について

問 県はお茶の有機栽培強化を８年度の方針として打ち出しているが、本町での農作物の有機栽培の実態について現状と課題は？

答 本町の有機栽培の実態は県と毎年実態調査を行っており面積は着実に拡大している。課題は収量が低い傾向にあり、対策として土つくりの強化を図っている。また、除草対策の省力化が課題であり、本町に適した省力化技術の導入を検討していく。

問 有機農家の戸数は？

答 6戸でそのうち環境保全の事業に取り組んでいるのは7事業者である。

問 果樹の改植事業おいて、苗木購入で重要視されるのが台木の選定と聞くが、台木と生育、収量、品質の検証はどのように行われているか？また、施肥量によっての収量・品質の検証は？

答 カラタチより樹勢が強いトロイヤーとスイングルを選定している。強勢台木の特徴は、栄養成長が優先し着果が進みにくい状況も確認しており、枝曲げや誘引等の管理技術を取り入れながら花芽の形成促進に努めていく。収量・品質についてはデーターの蓄積と分析を行っている。強勢台木の特徴や本町の降水量、土壌条件を踏まえた適正施肥の在り方を慎重に検討する必要があると考えている。

問 トロイヤーは現在本町では3万本導入されているようですが、まだ１０年未満であると聞いております。農家所得を左右する台木の選定は重要であることを考え、試験園でも他の台木の検証も必要では？

答 台木の問題が一番と考えている。時間もかかるので今植えているものをしっかり追跡調査を行っていきたい。

▶子育て支援

問 【子育て支援について】働くお母さん達の間で、習い事に通うための子供版路線バス利用助成の要望があるが、実施の方向で検討出来ないか？

答 負担の大きさなど事情は理解できるが、習い事に通う子どもだけの助成は、財政面・公平性の観点から現時点では難しい。

意見 世界で羽ばたく若者は多い、子供たちの夢を育む環境を検討していただきたい。



天辰絵美子議員

▶ 保育園留学と特定乳幼児等通園支援事業
▶ 高齢者福祉について

▶ 保育園留学等について

問　【保育園留学と特定乳児等通園支援事業について】
進捗状況、開始時期・対象保育園は？

答　保育園留学事業については、複数の園から申請があり、１園に決定。事業の早期実施に向け調整中。事業は、保育園留学のノウハウを持った事業所へ委託し早期実施に向け調整中。特定乳児等通園支援事業は、開始を検討している事業所があり、早期実施に向け準備を進めていく。利用料については、事業所で定める。

意見　保育園留学で屋久島町の魅力を感じ移住や二拠点生活、その後の町の小・中・高校の留学へとつながるきっかけになればと期待。ぽかぽかの木でお預かり可能な曜日もあることを周知しながら、広報やホームページ、母子モのアプリ等を活用し子育てに関する情報提供・周知に努めていただきたい。

▶ 高齢者福祉について

問　コミュニティバスの運用の検討は？

答　民間路線バスが運行しており、民間利益を損ない、町の財源を使うことは費用対効果を考えると現実的ではない。交通会社とも協議をし、運転手不足の解消や利用客の増加を目標に、交通会社各社の経営存続が図られるよう取り組んでいる。公共ライドシェアの実施可能性について協議・検討中。社会福祉協議会が買物支援のために、協議会バス貸与の取組を実施している集落は、１団体だけ。

問　現在支援している方も高齢化している。今後の人材確保はどうするか？

答　ボランティアの不足、参加者の減少、サロン運営の行き詰まり、送迎の問題等さまざまな問題がある。包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、専門職による支援、運営に関する相談支援、活動内容の簡素化、負担軽減、地域ボランティアの創出といった形で進めていく。

意見　情報共有しながら今後の施策につなげていただきたい。

問　フレイル予防の中の栄養・口腔面において、対象者、年何回開しているか？

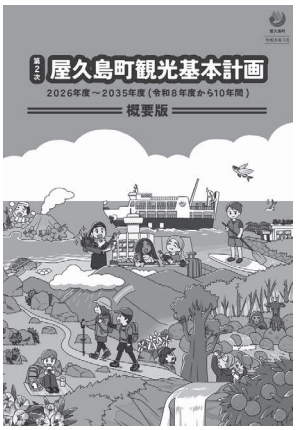
答　保健師、栄養士を中心に、主に高齢者サロンに出向き指導をしている。年間５回程度実施。

意見　もう少し回数を増やし重点的に実施してほしい。食べること、食べるための歯の維持は健康に重要になってくる。最後まで自宅で健康的に生活できる施策づくりをしていただきたい。

令和8年第2回・第3回全員協議会

（3月3日、23日開催された分の主なものを掲載しています）

1、令和8年度から10年間の基本計画が策定!!



第2次屋久島町観光基本計画が策定に伴い、概要版の説明が行われました。

問)大角利成議員：計画作成において、最初から委託業者が作ってきたのではないか。

答)観光まちづくり課：町民や事業者からアンケートをとり、それを元にワークショップを開催。町の考え方は、その都度委託業者と協議をして進めていった。長期振興計画や総合戦略に基づいた計画であり委託業者も把握した上での計画作成になっている。

2、ホテル建設予定に伴い町道松峰線の変更!!

船行川下流域に予定のホテル建設に伴い、海岸にアクセスする**町道の変更**されることになりました。

問)榎光徳議員：今の終点側の払下げは決定しているのか。将来的にホテル建設予定ということで、この道路はなくなることになる。付け替え道路を作るなら原因者負担で作ってもらうべきではないか。

答)建設課：具体的な協議については、政策推進課もあわせて協議中である。町道の終点の移動が専決であり、原因者負担として造成とあわせて道路を作っていきたいと話を頂いている。

問)渡邉博之議員：**船行川の下流**付近というのは、町民の遊び場である。町民の声は確認しているか。また対策は考えているのか。

答)建設課：当該地の利用状況は確認はしている。松峰区長へも、ホテル側から協議に行き、了承を頂いたと聞いている。付け替えの道路はホテル建設の事業費の中で作って頂き、そこを現在の払い下げ予定の道路と交換する形になる。今後の大まかな計画では、今年の6月頃に開発申請の許可がおりる予定。**造成工事着手が今年の7月、建物の工事着手は来年の7月という計画**である。区からも川に遊びに来る方の駐車場の要望も出された。町としても車両が多く通行するので、離合帯も要望していきたいと思う。またホテル側としては、熊毛生コンの県道の方から降りていく専用道路の建設の予定がある。

3、無償貸付期間更新!!

徳洲会病院への町有地無償貸付期間が経過したが、**本町医療体制の中核を担う総合病院**として、良質な地域医療体制の確保や地域住民の安心・安全の確保の観点から円滑な病院運営を協力する形で貸付期間を令和8年6月1日から30年間更新するものとすることになりました。

4、安定的な船舶事業運営を行うため、一般会計からの補助分上乗せ!!

このままの事業運営では資金不足比率が基準を超えるため、国より経営健全化計画の策定を求められるので、船舶事業特別会計について一般会計からの補助金を追加することが説明されました。

5、子ども・子育て支援金課税額税率設定!!



児童手当の拡充や妊婦のための支援給付など
こども・子育て支援の拡充が既に始まっています。
給付の拡充には、令和8年度から始まる
子ども・子育て支援金が充てられます。

5、子ども・子育て支援金課税額税率設定!!

令和8年度より鹿児島県に対して「子ども・子育て支援給付金」の納付が必要になることに伴い、当該納付金の納付に要する費用を**国民健康保険税**として徴収するため新たに課税額を設定されました。

問）相良健一議員：年々徐々に上げていくことと解釈して良いか。

答）町民課：県・国からは3年後をめどに**段階的に引上げ**がなされるということで、初年度は250円っていうことになっているが、まだ屋久島町の税率の確定がしていないので250円から300円にならない程度までで算定をしたいと思っている。

委員の選任

・屋久島町地域公共交通活性化協議会委員に榎光徳議員が選任されました。

・屋久島町スポーツ協会における議会選出理事に高橋義友議員が選任されました。

町民の声

議会だより第73号を拝読しました。表紙以外がモノクロとなり、文字もやや小さく感じられたため、全体的に少し読みづらさを感じました。目次表記や用語の統一、配置の整え方、用語説明など、より分かりやすくなる工夫の余地もあるように思います。特に一般質問のページは、今後さらに読みやすくなることを期待しております。今後の紙面づくりを楽しみにしています。

ご意見募集

広報員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。氏名、住所、連絡先等の内容が分かるようにお願いたします。

郵送〒891-4207　屋久島町小瀬田849番地20
メール：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp
（議会事務局）までお願いします。

編集後記

十数年ぶり。議会だよりの発行に携わることになりました。委員選定には自ら手を上げました。若手に任せればいいのにと心の声がありましたが、やりたいという思いが一歩勝りました。これだけではありません。観光推進委員会も自薦、議員視察先の提案など、これまでになかった自分を見ています。

人生最終章の思いが強くなっているのでしょう。現生を去るまでにはまだ幾分余裕があるにしても、議員人生はこれまでと決めているせいかもしれません。

ただ、こんな感傷を引き連れて発行の仕事はできません。ここは切り替え、みなさんに喜んでもらえる「議会だより」づくりに若いスタッフの皆さんと頑張ります。

渡邉博之

◇議会の動向◇

日付		内容
3	24	小学校卒業式
	30	屋久島空港ターミナル定時株主総会
	31	屋久島山岳部保全利用協議会
4	6	新任・転入教職員宣誓式
	8	屋久島高校入学式
	9	小・中学校入学式
	10	あゆみの森こども園入園式
	11	教育委員会・学校管理職合同歓迎会
	13	八幡幼稚園入園式
	16	種子屋久観光連絡協議会監査
	29	益救神社例祭
5	1	熊毛地区各種協議会総会
	12	熊毛郡議会議長会総会
	〃	種子島屋久島議員大会議長会
	13	議長会臨時総会・議員研修会
	14	新人議員研修会
	17	エネルギー回収型廃棄物処理施設竣工式

◇ 議会を傍聴しませんか ◇

次の定例会は
6月8日より開会予定です。
※都合により変更となる場合があります。



令和８年６月号 第７４号屋久島町議会だより　発行責任者：屋久島町議会 議長 石田尾 茂樹
編集責任者：屋久島町議会広報員会
（渡邉浩委員長：天辰絵美子副委員長：渡邉博之委員： 中馬慎一郎委員）
TEL 0997-43-5900（議会事務局）
Mail：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp